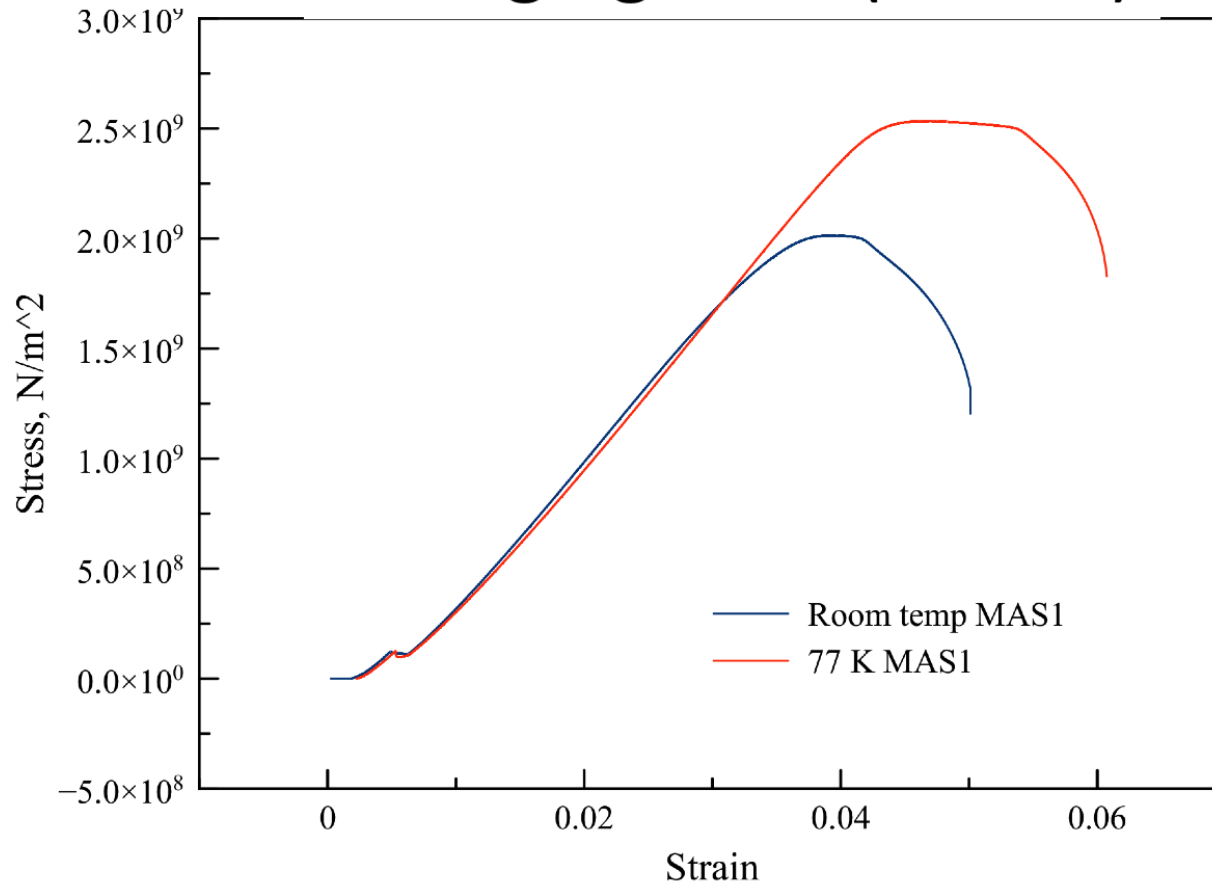


# Suspension Rods & Wires

2016.08.29 Chief Meeting

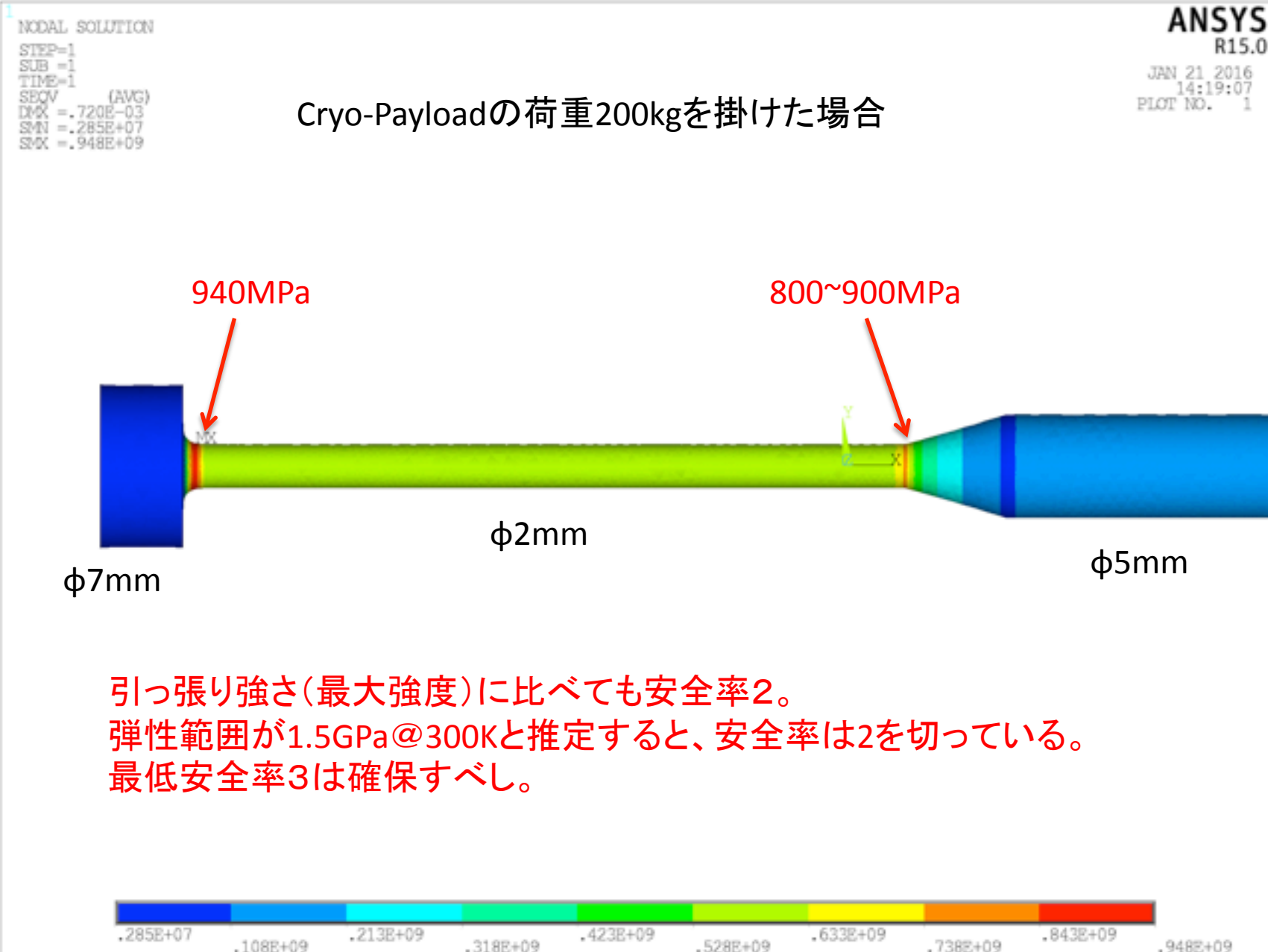
Rahul, Takayuki

# Maraging steel (MAS 1)

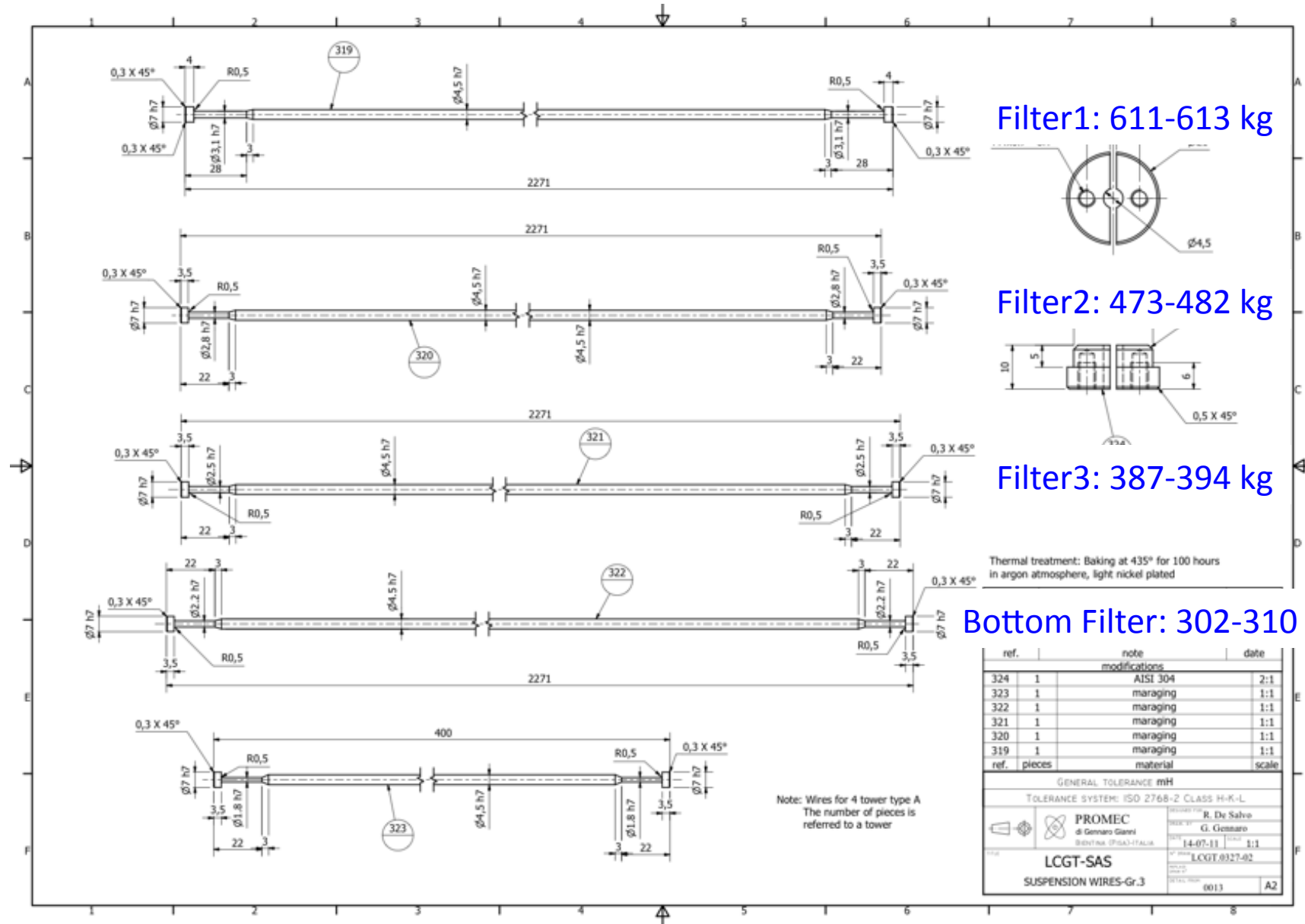


Temp.	Ultimate strength	Breaking stress
300 K	2.0 GPa	1.32 GPa
77 K	2.5 GPa	1.84 GPa

# VISからもらったBottom Filter – Platform間のマルエージング鋼のSuspension Rod 案

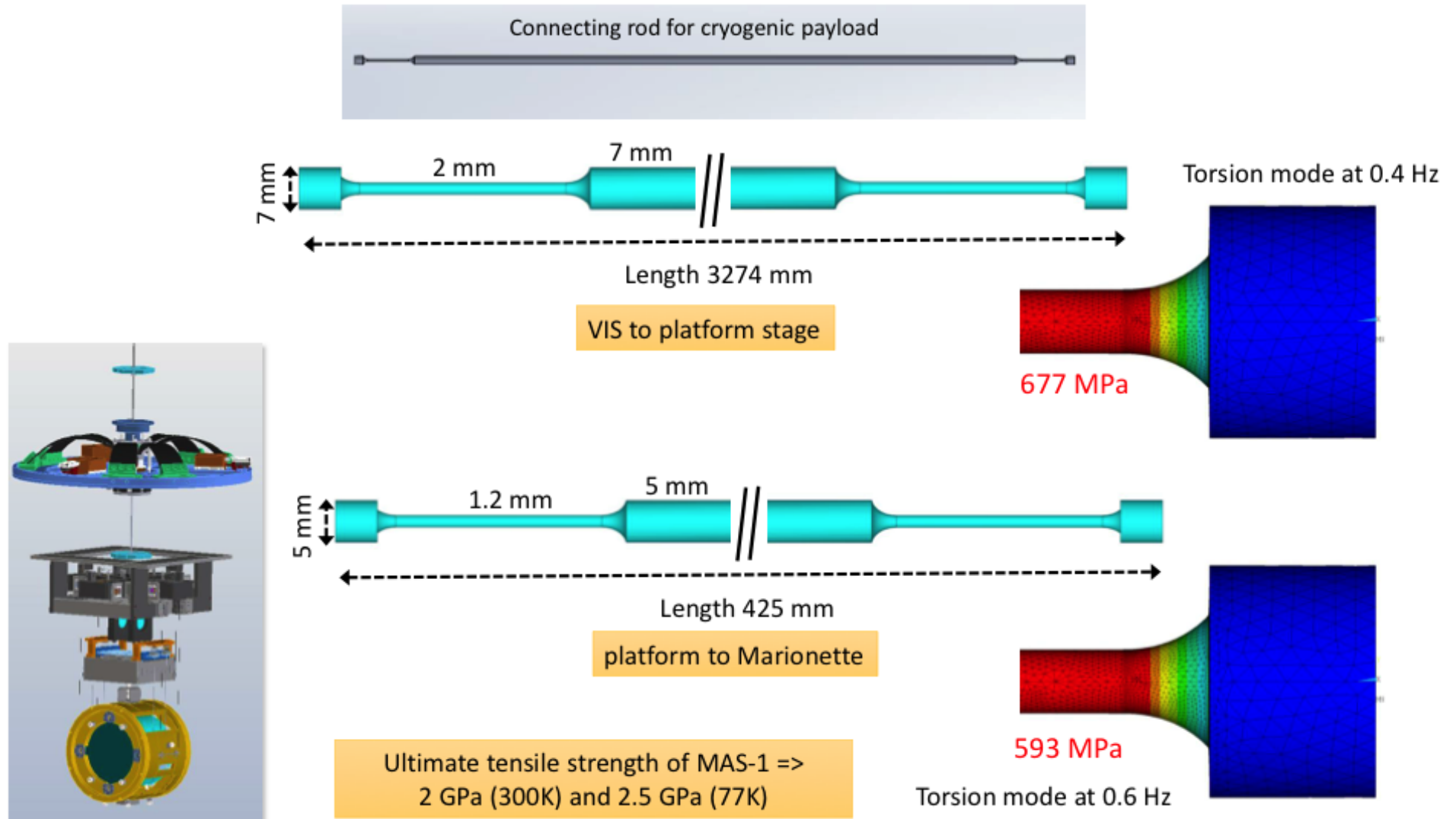


# 300K Type-Aのサスペンションロッド



- ネックの付け根の応力集中なので、200kgのBF-PF間でダメなら  
他も全てダメなはず。
- Type-BおよびBpは大丈夫か？非常に危ない可能性があるので、  
安全性が確認出来るまでテストは見合わせた方が良い。
- Rahulの話しでは、BSのサスペンションワイヤーでも当初案は強度不足で、  
マークさんに話して太いワイヤーに変更になったはず。  
BS以外のところでも反映されていますか？（念のため）

Bottom filter – Platform間はネック部のテーパを広げて対応することを考えている。



これだと引っ張り強度に対して3倍の安全係数は確保出来る。